

自己実現への道

第 102 回 ― 第 8 章 「信念さえあれば必ず道は開ける」(その 6)

★ 振り返るな！ 今こそ決断の時である。

かつて、世界最大で最高に美しいダイヤモンドが英国にあり、鶏卵 2 個の大きさで、このダイヤモンドの中に潜在している美しさを表に出すためには、これを半分に割るべきであるという決断が下り、分割についての研究が重ねられた。そして、分割のための一撃を加える決定的な瞬間がやってきたが、その瞬間にダイヤモンドが取り返しのつかない傷物になる危険性があり、人々は心配そうにその瞬間を見守っていた。そして今、分割された鶏卵大の 2 個のダイヤモンドはロンドン塔に保存されており、目もくらむばかりに輝いている。

人生には、振り返ることを許されない、帰り道のない、絶体絶命の地点に立たされることがある。勝つか、負けるか、決断のときである。退路を断つ覚悟で臨めば、勝利は近い。このような時には、積極的な一手を打つことだ。

「まず、攻めの一手を加えることだ。これで目標に向かって攻め込む姿勢が固まる。敗北の危険を冒すのである。一か八か、やってみなければ成功は望めない」

burning desire (燃えるような意欲) がなければ成功はしない。一番良い方法は”burn the bridge behind you” (背水の陣をひく) ということである。そのとき人は本当に燃える意欲で全力を尽くして戦うであろう。そのすさまじい力は、あらゆるものを蹴散らしていくのである。

★ 受けるまえに与えよ！ 光あふれる人生はそこにある

聖書に「与えよ、さらば与えられん」という言葉がある。こちらが笑顔になれば、相手も笑顔になってくれる。農夫は、まず種をまき、それから収穫を待ち望む。種を撒かねば何も得られないのだ。

見返りを得る保証がなくても、先に「与える」人は、それだけで幸福感に満たされる

助けてあげても、祈ってあげても、何の効果の無いように見える、努力しても、何の甲斐もないように見えることがある。しかし、浅はかな理性で推し量るべきではない。

すぐに眼にはみえなくても、心の世界では、あなたの行いが水面下で何らかの作用をしていて、あなたの知らないところで、実は何かの役に立っていることを忘れてはならない。あなたの一言が、誰かの人生を大きく変えることもある。このことを忘れてはいけない。

あなたが与えたものは、必ず何かの役に立っている

〈MIKO〉

参考文献：Tough Minded Faith For Tender Hearted People by Robert H Schuller より